

終わりに

2012年からスタートした本事業は、2013年度からなみえ交流会館のなかに「なみえ保健室」として移管し、その後活動を円滑に実施することができました。このように活動を継続できるのも、日本赤十字社本社、福島県の浪江町長はじめ行政の皆様、そして浪江町民の皆さまのご理解、ご支援の賜と感謝致します。

また、日本赤十字社東日本大震災復興推進支援本部、看護部、福島県支部、福島県赤十字血液センター、日本赤十字看護大学の関係者の皆様方、そして何より全国の赤十字病院から派遣看護師として支援活動にご協力を頂きました皆様には深く感謝申し上げます。

今後も福島の復興を支え、本活動を継続するよう努力していきたいと考えています。更なるご支援をよろしくお願い致します。

<引用文献>

浪江町(2016). 福島県浪江町～大震災と原発事故から5年間の歩み～. 浪江町ホームページ. <http://www.town.namie.fukushima.jp/site/shinsai/12076.html#>

浪江町(2012). *浪江町復興計画【第一次】*. 浪江町.

浪江町(2014). *浪江町復興町作り計画*. 浪江町.

浦田喜久子・高田早苗・内木美恵(2013). 福島県いわき市区域に所在する東電福島第一原発周辺町村住民の保健ニーズへの対応に関する研究. 多々羅浩三(研究代表者). 平成24年度厚生労働省研究補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「健康危機発生時における行政機関相互の適切な連携体制及び活動内容に関する研究」報告書, 日本公衆衛生協会, 497-510.

吉岡正彦(委員長)(2016). 避難指示解除に関する有識者検証委員会報告書. *避難指示解除に関する有識者検証委員会*, p. 9.